

全国保育実践交流連絡会ニュース 2020年10月発行 長野地区

【長野地区の2019年度総括と卒園児部会をおこないました】

長野地区がスタートして5年目となりました。毎年4月のはじめには、4園の職員約80名が集まり前年度の総括をおこなってきました。しかし今年は新型コロナウイルスの感染拡大のため集まることができず、年長交流も年齢部会も顔を合わせて話すことができませんでした。しかし緊急事態宣言の解除後の7月14日に一時的に県内の感染が減ったため、昨年度の卒園児部会をおこないました。そして卒園児の担任が各園の担任を代表して、総括を園ごとに発表しました。**総括で話されたこと…0歳児の睡眠について・1歳半での自閉症の診断の事例に**



について・1年目の保育士の総括 卒園児部会で話されたこと…身の回りのことができる力について。二泊三日で洗濯や食事等すべて自分でやる実践・年度末にコロナを危惧しながらも思い切って出かけた卒園旅行の報告など。2月からインフルエンザの影響もあり、絵を並べての部会は5か月ぶりでした。「やっと年度が変わった気がするね」と安堵の声が聞かれました。この直後から再び県内の感染が増え、まだ集まることはできません。絵を囲んで子ども達について語ることができるようになる日を心待ちにしています。

年長担任のメール交流二回目

5・7・8・9月と予定していた年長交流や合宿はすべて中止となりました。そこで代わりに、2回の交流をメールでおこないました。8月に送り合った1回目のメールの内容は、「①コロナウィルス感染拡大の中で工夫しておこなっている年長の活動 ②子ども達の姿 ③配慮の必要な子・家庭 ④他園への質問等」でした。

①について・山の子保育園ではお泊りを小人数で分かれて寝る。子ども達だけの夏祭り。太鼓・獅子舞・ひょっとこも大人の人を呼べないので自分達で練習を重ねました。今年できることを親と共に考え、最大限たのしめるやり方を見つけていきました。**山形やまのこ保育園**では馬頭琴奏者を招くのは自粛となり、バイオリンの演奏を交えて、スーホの読み聞かせをしました。村のプールは感染防止のため閉館でした。しかし松本市のプール

へ行く費用を村が負担してくれ、水遊びの経験が十分できました。

登山は一般客と一緒ににならないようにして実施しました。

上高田保育園では、行事や野外活動がなくなり子ども達に、楽しく成長に見合った保育をしていくにはと考え、制作を多く取り入れました。手先の力を培ったり、集中力をつけさせたいと例年は保護者が作るおみこしを子ども達が作りました。その他にも様々制作をしました。また体力作りに山口体操を取り入れました。雑巾がけと朝の掃き掃除は日課となっています。

海野保育園では、他園との交流ができない中で、豊かな体験をさせたいと考え、感染予防に努めながら、園外の宿泊に出かける機会をとっています。八ヶ岳青少年自然の家では、密を避けるために白線によって歩く場所が決められるなどの必要な制約を守りました。そして南八ヶ岳赤岳方面から流れ出る川



吐龍の滝で遊びました。新潟県妙高山の麓では、溪流登りをしました。園外での活動ができるのは保護者の理解があつてこそと思います。

②子ども達の姿について 4園から寄せられたメール

- ・提灯作りで絵が変わり、持っていた力を引き出す制作になった。
- ・夏祭りへの取り組みが、恥ずかしがり屋の子ども達の自信に繋がった。
- ・はじけきれない子について ・他の子の大切な持ち物に落書きをしてし

まったことについて ・担任からテレビ・ゲームをやめようと子ども達に伝えて、保護者からも声が寄せられた実践の報告 ・早期教育の状況について ・発達に遅れがある子の保護者が困り感を持っていない。就学前の年長だからというだけでなく、その前の年齢から保護者に苦手・弱さのある部分を伝えていく必要について ・メディアについて「鬼滅の刃」というアニメを視聴している家庭が多い ・日常会話の中でのゲームの話題

③配慮の必要な子について

- ・5名が発達検査を受けた。認めたくない父母への対応について ・自閉症スペクトラムの男児についてどこまで求めていくか ・思い通りにならないと外に飛び出したりする子について。保健師や専門の医師につないでいく予定 ・発達に遅れがある子のこれからの半年の行事への参加や過ごし方について

④他園に聞いてみたいこと 制作・集団遊び・当番活動・絵本等についてたくさん寄せられました。

年長担任のメール交流二回目

1回目のメール交流から1か月後、2回目のメール交流をおこないました。1回目のメールについての助言や質問への答え、また子ども達に会えない代わりに活動の写真を送り合いました。**山の子保育園**では、川遊びで飛び込みをするのが楽しくて、連続飛びをしたり豪快に楽しみます。

山形やまのこ保育園では他園からの質問に答えて、張り子のこいのぼり作りを紹介してくれました。



土台の風船を膨らます



新聞紙と障子紙を貼る



厚くなるまで貼り続ける



障子紙にウロコを描いて色を塗り切る



完成

全国保育実践交流連絡会ニュース 長野地区 No.2

上高田保育園は、コロナウィルスの影響で多くの行事ができなく

年長担任のメール交流二回目

なり子ども達に豊かな生活体験を保障しようと園庭に田んぼを作りました。何日もかけて土を掘りました。6月下旬に田植えをしました。田んぼでオタマジャクシ・アメンボ・ヤゴ・カエルも発見し全園児にとってもいい体験になりました。子ども達でかかしも作りました。稲刈りでは稲を束ねて結ぶ作業を子ども達が協力する姿がありました。乾燥したら、自分達で脱穀し、さんまを焼き、味噌汁を作ってお昼ご飯に食べようと考えています。

クラス全員で力を合わせて1つのことをやり遂げることができました。



海野保育園は、年長の2泊3日の園内宿泊をおこないました。自分達の生活を見直して「自分たちのことは自分でおこなう」お泊りしました。7月の総括の時、山の子保育園の「生活することを中心としたお泊り」の話を聞き、今の海野保育園の年長に必要なのはまさにそのことかもしれないと考え、実施しました。衣食住すべてのことを自分達で考えおこなう経験はとても有意義なものとなりました。その後もお泊りをしましたが、衣服を脱いだら表裏を直すことや、食事の準備や片付けなど何気ないことが身についてきました。

長野県北八ヶ岳の蓼科山の麓、
双子池の紅葉です。十月十五日
に年長児が行きました。

